DUCATI（2024-）
アルミビレットレバー

AELLA

製品番号：AE-58010/59010

参考作業時間：1時間

適合車種
DUCATI PANIGALE V4 7G
DUCATI PANIGALE V2 (2025)

この度は弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
ご使用の際には当説明書を熟読し、内容を十分理解された上で取り付けを行いご使用下さい。
当説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社はその責を負いかねます。
また、当説明書は製品を破棄されるまでお手元に保管して頂き、第三者に譲渡される場合は必ず当説明書もお渡し頂けますようお願い致します。
お気づきの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

・本製品の取り付けには純正とワークショップマニュアルまたはサービスマニュアル等の車両メーカー発行の整備手順解説書が必要です。工具等の設備、技術や知識が不十分な場合は専門店へ作業をご依頼下さい。
・取り付けの際、必ず当説明書とワークショップマニュアルまたはサービスマニュアル等の車両メーカー発行の整備手順解説書に記載されている内容を必ずご確認下さい。
・イラスト、写真等の記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。
・材料コストアップ、デザイン変更、見直し等で製品の仕様、および価格は予告なく変更されます。あらかじめご了承下さい。
・クレームについては材料、及び加工に欠陥があると認められた場合修理または交換させて頂きます。
但し取り付けや使用方法が当説明書の内容に準じていない場合はこの限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は保証致しかねます。また、サーキット走行に使用の場合はクレームはお受けできません。
・本製品以外の部品に不具合が発生致しましても保証は致しかねますのでご了承下さい。
・他社製品との組み合わせは確認しておりません、お問い合わせはご遠慮下さい。

⚠ 注意：取り扱いを誤ると、人が障害を負う、または物的損害が想定できる内容を示しています。

・走行直後は、各パーツが熱くなり火傷の危険性があります、必ず冷めている状態で作業を行って下さい。
・作業は必ず安全な場所で車体を安定させ、十分注意して作業を行って下さい。
・製品、および車体部品にはエッジや突起がある場合があります。取り付けの際には軍手、長袖等で身体を保護し、十分注意して取り付けて下さい。
・車両や製品には個体差があります。取り付け時は正常に作動するか、干渉が無いか必ず確認を行って下さい。
・規定トルクは必ずトルクレンチを使用し確実に作業を行って下さい。
・製品取り付け後は走行前に必ず走行に関する機能が正常である事を確認した上で走行して下さい。
・走行前は必ず各部を点検しネジ部当の緩みが無いか確認し、緩みがあれば必ず規定トルクで確実に締め付けて下さい。
・取り付け後、必ず定期的に点検、増し締めを行って下さい。

⚠ 警告：取り扱いを誤ると、人が死亡、または重症を負う想定できる内容を示しています。

・走行前、取り付けた部品、製品が正常に作動するか必ず確認した後に走行して下さい。
・走行中、異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ走行を中止して下さい。
・作業を行う際、水平な場所でメンテナンススタンド等を使用して頂き、車両を安定させて下さい。
・火災の原因になりますので近くにガソリン等の危険物、可燃物を絶対に置かないで下さい。
・点検、整備は当説明書とワークショップマニュアルまたはサービスマニュアル等の車両メーカー発行の整備手順解説書に記載されている内容を必ずご確認下さい。
・点検、整備時に損傷部品が見つかれば、当該部品を再利用する事は避け交換を行って下さい。

アルマイト製品について
・洗車の際は必ず冷めた状態で、中性洗剤をご使用下さい。
・着色アルマイトについては塗装の様な微妙な調色はできません。 また使用するアルミの材料によっても色が違ってきます。
・着色アルマイトは、紫外線、熱、薬品、洗剤などの要因で色褪せやひび割れが発生します。
・アルマイト厚みは、0．005mm～0．02mmと非常に薄い為、部品同士が擦れる箇所や乗車時にブーツが擦れる箇所で摩耗し下地のアルミ表面が現れます。
・アルマイト処理を行う際に部品を保持する部分（接点）には色が付かない場合があります。
以上はアルマイト処理の性質で避けられない為、クレーム対象にはなりません。予めご了承下さい。

AELLA
株式会社 AELLA
〒612-8473 京都市伏見区下鳥羽広長町218 TEL：075-622-7439

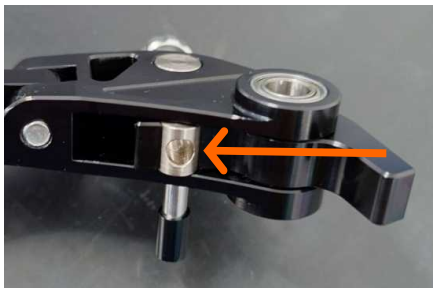
①純正のレバーを取り外して下さい。

②マスターシリンダー本体の点検、清掃及びグリスアップを施し、付属のプッシュロッドに薄くグリスを塗り
プッシュロッドの溝にはまる様ダストブーツに差し込んで下さい。
※ダストブーツのゴムは破れやすいので注意して下さい。

③レバー本体側のプッシュロッドが収まる穴に付属のシムを入れて下さい。
ブレーキ側：1mm厚　クラッチ側：0.5mm厚

⚠ 警告

※シムの厚みを間違えない様、厳重に注意して下さい。間違えた場合、重大なトラブルを引き起こします。



④付属のピボットボルトとベアリングの表面に薄くグリスを塗りレバーを取り付けて下さい。
※③で穴に入れたシムが落ちない様に注意して下さい。

⑤ピボットボルト、ナットの順に締め付けて下さい。締め付けトルク：6Nm

⑥取り付け後、下記項目の確認を行って下さい。

・レバーをスムーズに動かせるか。
・ブレーキの引きずりは無いか。
・レバーを握った際にクラッチが完全に切れるか。
※レバーを手前に寄せ過ぎるとクラッチが完全に切れなくなる事があります。
・ハンドルを左右にきった際にカウル等に干渉はないか。
・ダストブーツがねじれたりしていないか。

⚠ 警告

・取り付け後、走行中の振動によってネジが緩む場合があります。走行前に点検を行い規定トルクでの増し締めを行って下さい。
・違和感や異常を感じた場合は出来る限り速やかに使用を中止して下さい。

株式会社 AELLA
〒612-8473 京都市伏見区下鳥羽広長町218　TEL：075-622-7439